

都市再生整備計画 事後評価シート  
日進駅周辺地区(2期)

令和3年3月

埼玉県さいたま市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	日進駅周辺地区(2期)			面積	33.8ha					
交付期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和2年度	交付対象事業費	132	国費率	0.4							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
	基幹事業	道路:日進駅南口駅前広場 高質空間形成施設:七夕通り美装化												
	提案事業	なし												
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	-			-							
		提案事業	なし	-			-							
交付期間の変更	当初 変更	平成27年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし									
		平成27年度～平成31年度												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	七夕通り歩行者自転車交通量	人/日	7,590	H23	7,940	R2	モニタリング	評価値	8,961	○	あり なし	一方通行化、歩行空間確保などの通行環境改善により、歩行者自転車の利用が増加し、最終目標値を上回った。	
	指標2	歩行者通行環境改善満足度	%	-	H26	50%	R2			71.6%	○	あり なし	一方通行化、歩行空間確保などの通行環境改善により、歩行者通行の満足度が得られ、最終目標値を上回った。	
	指標3	七夕祭りの入り込み客数	人	147,000	H21～26平均	158,000	R2			161,250	○	あり なし	新型コロナウイルス(COVID-19)の流行により七夕祭りが中止のため入り込み客数の計測は出来ないが、平成28年度～令和元年度の平均は目標値を上回っている。	
	指標4											あり なし		
	指標5											あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>日進駅南口駅前広場整備により、歩車分離空間や交通結節機能の形成により歩行者の安全性や利便性が向上した。また、まちの玄関口である駅前広場の景観形成が図られ、住環境が向上した。</li> <li>地元まちづくり組織と連携することで、地元意見を反映した施設整備となった。</li> <li>駅前広場、七夕通りの美装化により、歩行者が快適に利用することができるとともに、まちに賑わいが生まれる1つの要素となった。</li> </ul>													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	地域によるまちづくり組織と連携し、計画案や事業実施についての説明の開催					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	引き続き、まちづくりの状況などについて、情報共有を図っていく予定。		
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

## 様式2-2 地区の概要

日進駅周辺地区(2期)(埼玉県さいたま市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:安全で良好な住環境と利便性が高い地域生活拠点の形成 小目標1 駅前広場等の整備による、日進駅の交通結節機能の向上 小目標2 歩行者空間確保による、七夕通りの活性化 小目標3 都市型住宅地にふさわしい安全で良好な住環境の形成	七夕通り歩行者自転車交通量	単位:人/日	7,590	H23	7,940	R2	8,961	R2	
	歩行者通行環境改善満足度	単位:%	-	H26	50%	R2	71.6%	R2	
	七夕祭りの入り込み客数	単位:人	147,000	H21~26 平均	158,000	R2	161,250	H28~R1 平均	



まちの課題の変化

- 日進駅南側広場は、小規模で、人と自動車等が錯綜しやすい等、交通結節機能が弱い状況であったが、日進駅南側広場を整備し、歩行者と自動車の十分な空間を確保することで、人と自動車等が錯綜しない交通結節点として機能している。
- 日進駅南口駅前広場は、住民の交流に使用できるオープンスペースが不足している状況であったが、日進駅南口広場を整備することで、住民が交流できるオープンスペースを確保している。
- 日進駅南側広場が整備されたことで、交通結節機能としての役割を果たし、広域からのアクセスが期待される。また、七夕通りの美装化、電線類地中化(令和2年度)等による歩行者空間の確保により、歩行者自転車交通量が増加することで、沿道商業施設の活性化が期待できる。
- 七夕通りの電線・電柱が景観及び歩行環境を阻害している状況であったが、日進七夕通り美装化事業として、電線類地中化を予定(令和2年度)しており、景観に配慮した歩行空間となる。
- 市道30790号線の一部区間に道路側溝が無く、排水不良であるが、令和元年度より市道30790号線の整備に着手しており、解決に向けて取り組んでいる。
- 市道30790号線は通学路であり、児童通学が危険になりつつあるが、令和元年度より道路拡幅を行っており、安全な通学路が確保される予定である。
- 市道30790号線沿いに民間駐車場等大規模低利用地が存在し、将来的な土地利用転換によりさらに定住人口が増える可能性があることから、増加する人口に対応した道路基盤整備を実施している。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 整備を実施した駅前広場や道路などのインフラ施設について、環境美化活動などで地元と協働しながら、適切に維持管理を行い、施設の状態を良好に保ち、継続的に整備効果を維持していく。
- 現在実施している市道30790号線その他生活安全道路や排水施設の整備推進を図り、安全で良好な市街地の形成と居住環境の整備を図る。